

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年8月3日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	中谷運輸株式会社
所 在 地	〒552-0022 大阪府大阪市港区海岸通1丁目5番22号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 中谷 庄司朗
担 当 者 連 絡 先	電 話：06-6572-5021
	メー ル：y-kawabata@nakatani-osaka.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://unyu.nakatani-grp.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<ul style="list-style-type: none"><li>・1902年（明治35年）に大阪港にて創業以来、大阪港の発展とともに業容・業域を広げて参りました。</li><li>・港湾運送事業を中核とし、輸出梱包・機器設備メンテナンス・各種工事等も手掛け、港のあらゆるエリアで安全・高品質で効率的なサービスを提供しています。</li><li>・社是「和と誠実」の企業精神のもと、グローバル物流を支える企業として、常に時代の変化に即応した安全・高品質で効率的なサービスの創造に取り組んでいます。</li></ul>
---

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	電気・ガス・水道・車両用燃料等の管理を行い、CO2排出量の削減を目指す ・エコアクション21認証取得(2021年)	CO2排出量削減目標：15%(2019年度比)
□環境 ✓社会 ✓経済	BCPの継続的改善により、様々な脅威への対応を行い、事業継続を目指す ・BCP策定：2017年	定期的にBCPの内容確認を行い、必要に応じ内容や災害備蓄品の更新を実施 ・人事異動時、備蓄品期限切時等
□環境 ✓社会 ✓経済	健康経営優良法人認定を通じて、社員の健康と働きやすい会社を目指す ・2021年より継続認定中	2030年まで継続認定を目指す

(次項へ続く)


















(様式第2号)

企業・団体名( 中谷運輸株式会社 )

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	ハラスメント防止規程策定、ハラスメント相談窓口を設置、社内研修実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント防止規程策定、ハラスメント相談窓口を設置、社内研修実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	所課長・管理部門で毎月の時間外労働を管理し、過度な長時間労働の抑制に努める								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	労働災害防止計画書策定、安全衛生教育を年間計画に沿って実施、月4回の役員・管理職パトロールを実施			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	全社員にストレスチェックを実施			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	育児短時間勤務制度導入					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	階層別研修、管理職研修の実施、免許・資格取得支援				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定 ・2021年より継続認定中			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	鉄くず・廃油の有価物としての引き取りを実施、社内電子決済化によるペーパーレス化の実施 ・エコアクション21認証取得(2021年)											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	電気・ガス・水道・車両用燃料等の使用量を数値化の見える化(掲示)による管理を実施 ・エコアクション21認証取得(2021年)							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	電気・ガス・水道・車両用燃料等の使用量を数値化の見える化(掲示)による管理を実施 ・エコアクション21認証取得(2021年)							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	SDS入手で化学物質情報を把握、購入量の数値化の見える化(掲示)による管理で購入量を抑制 ・エコアクション21認証取得(2021年)			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	水道の使用量を数値化の見える化(掲示)による管理を実施 ・エコアクション21認証取得(2021年)						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページSDGsページにて情報開示												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	太陽光発電設備設置 ・年間発電量:約350,000kWh ・CO2削減効果:約200,000kg							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	大型荷役車両に再生タイヤ装着を実施												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	安全講習、階層別研修、管理職研修の実施									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	業者と共同にて台風等の強風対策用の空コン固定金具を開発	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	災害発生地域への義捐金贈呈 ・直近はトルコ・シリア地震被災者支援義捐金を日本赤十字社大阪府支部へ贈呈				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	環境経営方針、環境保全への行動指針を策定 ・エコアクション21認証取得(2021年)								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	グループ会社や社内担当者による監査を実施																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	環境経営組織を構築 ・エコアクション21認証取得(2021年)																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCPを策定 ・策定：2017年									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	定期的にBCPの内容確認を行い、必要に応じ内容や災害備蓄品の更新を実施								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

<p>【記載留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。</li> <li>・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）</li> <li>・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。</li> <li>・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。</li> <li>・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。</li> <li>・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。</li> <li>・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。</li> </ul>
--

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	大阪市港区海岸通 1 丁目 5 番 22 号
名称：	中谷運輸株式会社
代表者：	代表取締役社長 中谷 庄司朗
登録年月日：	令和 5 年 9 月 29 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	電気・ガス・水道・車両用燃料等の管理を行い、CO2 排出量の削減を目指す ・エコアクション 21 認証取得 (2021 年)	CO2 排出量削減目標 15%(2019 年度比)	2019 年度：4,096 t-CO2 2023 年度：3,662 t-CO2 ◇2019 年度比：-10.5%
□環境 ✓社会 ✓経済	BCP の継続的改善により、様々な脅威への対応を行い、事業継続を目指す ・BCP 策定：2017 年	定期的に BCP の内容確認を行い、必要に応じ内容や災害備蓄品の更新を実施 ・人事異動時、備蓄品期限切時等	令和 6 年 7 月 1 日付更新 ・BCP 組織 ・安否確認リスト ・災害備蓄品等 南海トラフ地震臨時情報発令に伴い、非常用電源等の確認
□環境 ✓社会 ✓経済	健康経営優良法人認定を通じて、社員の健康と働きやすい会社を目指す ・2021 年より継続認定中	2030 年まで継続認定を目指す	2021 年から 2024 年まで継続認定中



(様式第 4 号)

令和 7 年 9 月 1 日

## SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 大阪市港区海岸通 1 丁目 5 番 22 号

名称： 中谷運輸株式会社

代表者： 代表取締役社長 中谷 庄司朗

登録年月日： 令和 5 年 9 月 29 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	電気・ガス・水道・車両用燃料等の管理を行い、CO2 排出量の削減を目指す ・エコアクション 21 認証取得 (2021 年)	CO2 排出量削減目標 15%(2019 年度比)	2019 年度：4,098 t-CO2 2023 年度：3,534 t-CO2 ◇2019 年度比：-13.7%
□環境 ✓社会 ✓経済	BCP の継続的改善により、様々な脅威への対応を行い、事業継続を目指す ・BCP 策定：2017 年	定期的に BCP の内容確認を行い、必要に応じ内容や災害備蓄品の更新を実施 ・人事異動時、備蓄品期限切時等	令和 7 年 9 月 1 日付更新 ・BCP 組織 ・安否確認リスト ・災害備蓄品等
□環境 ✓社会 ✓経済	健康経営優良法人認定を通じて、社員の健康と働きやすい会社を目指す ・2021 年より継続認定中	2030 年まで継続認定を目指す	2021 年から 2025 年まで継続認定中